

日本最年少！10歳（小4）の小さな小説家誕生！

12/13、BoC出版より本格長編小説「皐月と美月の夏」電子出版決定！



↑ 10歳の小説家が書いた長編小説「皐月と美月の夏」

くあらすじ>ADHDと診断された少女は小学校である事件を起こしてしまい、魔女のような変な叔母さんの元に預けられ七島という不思議な島で夏休みを過ごすことになってしまう。七島で七家というゲストハウスを運営している叔母の元へは天使や絵描きなど一風変わったゲストが訪れる。家族愛や個性の大切さを描きながらもハートフルでクスッと笑え、恋愛要素も織り込まれた本格長編小説。

幼い時から小説を読むのも書くのも好きだという、小学4年生の小さな作家、倉本莉亜さんは、自らを「小学生小説家」と名乗り、2018年の夏休み開始と同時に、小説やコラムなどを投稿できるSNSサイト「note」にて、長編小説、ショートショート、エッセイなどの自身の作品の投稿を開始した。

その結果、noteを利用していた多くのクリエイターから注目を集め、出版社などから書籍化の声がかかる。しかし、彼女が選んだ出版社は、困窮している編集長が1人で運営している小さな出版社だった。

彼女はnote上で、編集長が困窮している事実を知り「私を利用してください。上手く利用できれば駄菓子くらいは買えると思います。」と申し出てこの度、本格長編小説「皐月と美月の夏」がBoC出版から電子出版されることが決定した！（kindleにて12/13から販売開始！）

ネット社会が生んだ小学生小説家は、果たして困窮した編集長を助け、自身の夢を叶えることができるのか！？

（本格的な長編小説を書いた最年少作家は2009年に出版したスペインのマニユエル・アルグエシルくん（当時9歳）日本では2017年に出版した三船恭太郎くん（当時12歳）が記憶に新しい）

【著者 プロフィール】

著者名（ペンネーム） 倉本莉亜（くらもとりあ）

2008年11月6日生まれの小学4年生。神奈川県川崎市にて生まれたが小学校入学を機に山形県へ移住。小1の頃から小説を書くのも読むのも好きだった。小4の夏休みをきっかけに初めての長編小説の執筆に挑戦。同時にnoteへ投稿をはじめた。

NPO法人の代表をする母親のことを赤裸々に書いた「私のお母さんは変な人。」というエッセイも書いている。（noteにて掲載）

好きなものは、コーヒー（ブラック）、小説、YouTube、漫画、変なお母さんと作った変な遊び。将来の夢は「将来好きなことをして生きる大人になるために、私は今小説家になる。」だろう。

<出版に関するお問い合わせ> (BoC出版 担当 OZZY(オジー))
メール: info@bottle-of-coffee.net HP: https://b-o-c-pub.net

本件に関する詳細はこちらまでお問い合わせください。

<倉本莉亜に関するお問い合わせ> (担当者 佐藤亜紀 (倉本莉亜母))

メール: kuraria9th@gmail.com 電話: 080-4402-6108

・倉本莉亜のnote https://note.mu/hoshian

・購入方法 kindleにて検索「倉本莉亜 皐月と美月の夏」

・倉本莉亜のインタビュー動画 YouTubeにて検索「倉本莉亜」